

ちばセンセイの健康ワンポイントアドバイス

11月に入ってから本格的に寒くなってきましたね。釧路管内の感染症の傾向として、10月中旬からアデノウイルス、11月に入ってから溶連菌が流行ってきているようです。アデノウイルスはウイルス感染なので特効薬はありませんが、溶連菌は細菌感染なので抗菌剤（抗生物質）がよく効きます。

市販の風邪薬で良くならないようなら、ぜひ受診してください。

さて、今回も高血圧症の治療のお話です。今回は生活習慣の改善でどのくらい血圧が下がるか紹介いたしましたが、今回は内服薬の説明をします。

このコラムを読まれている方の中には、すでに高血圧のお薬を飲まれている方も多いと思います。中には、1種類ではなく、2～3種類以上のお薬を飲まれている方も少なからずいらっしゃると思います。降圧薬の一番の目的は血圧を下げることなのですが、薬の作用は一つではありません（体にとって有害なものを副作用と言います）。どのようなタイプの高血圧なのか、糖尿病や脂質異常症など他に病気があるか、などによって薬の使い分けが大切です。ですから、一つの薬の量を増やすのではなく、二つ以上の薬を少量ずつ組み合わせて、血圧だけではなく、他に抱えている病気の状態も良くすることが必要な場合も多いのです。そうは言っても、薬は少ない方が良いと考えるのはもっともなことで、そのため、今は2種類の降圧薬を組み合わせた配合錠も増えてきました。2錠飲むよりも、1錠の配合剤の方が薬価も安いので、経済的な面でも有利です。

薬の効果を具体的に説明しようと思いましたが、この1回では書き切れません。次回まとめて説明いたします。どうぞお楽しみにしてください。

大楽毛 2-2-27
ちば内科クリニック
院長 千葉 淳
Tel64-6650